



平成23年 第123号



子育て施設課
0823-25-3144

ほけんだより

やけどについて

寒くなると暖房器具やお湯などで、やけどをする機会が増えてきます。

やけどは、熱や化学物質などが皮膚に触れることにより、組織が傷害されるために生じます。

やけどの深さと重症度

皮膚のどの部位まで傷害されたかによって、やけどの深さが分類されています。また、やけどの重症度は、やけどの深さと範囲で決まります。

やけどの深さ	損傷の部位	皮膚の変化	重症度
I度	皮膚の一番浅い部分(表皮)の損傷	やけどした部分が赤くなる	範囲に関係なく軽症
II度	指を切ったりすると皮膚の下に白く見える部分(真皮)まで傷害	赤くなるだけでなく、水ぶくれを生じる 浅い場合…2週間以内に皮膚が再生し、あとが残らない 深い場合…直るのに時間がかかり、きずあとが残る	大人は全身の面積の15%以上、子どもは10%以上の場合重症で、入院が必要
III度	皮膚の表面から真皮、さらには脂肪まで傷害	皮膚のタンパク質が熱のために変性し、血は通わなくなり白っぽくなる。 炎でやけどをした場合などは、焦げて黒くなることもある 熱のため神経も傷害されるので、あまり痛みを感じず、簡単に毛がぬけるのも特徴の一つ	全身の2%以上あれば入院が必要

小児の場合皮膚が薄く、思っていた以上にやけどが深い場合があります、注意が必要です。

やけどした本人の手の平の大きさがだいたい1%の大きさであり、手の平何枚分あるかということで、大まかなやけどの面積を求めることができます。10枚分以上あるようであれば、救急車を呼ぶほうがよいでしょう。

応急処置

やけどの深さは、接触した温度と、接触している時間によって決まりますので、できるだけ早く冷やすことが大切です。服の上から熱湯がかかった場合など、できるだけ早く脱がせ、流水で冷やしましょう。

やけどをした部分が赤いだけであれば、しばらく冷やして、自宅で様子を見ることも可能です。水ぶくれができたり、水ぶくれが破れてきずになっているようなときには、痛みがある程度落ち着くまで冷やしてから、医療機関を受診しましょう。

やけどは、分・秒を争うほど急いで処置が必要ながではありませんので、冷静に対応することが重要です。

やけどに、アロエやすったジャガイモなどを貼り付ける民間療法がありますが、水ぶくれが破れているときなどは、除去するのに強い痛みを生じることと、後でかぶれを起こすことなどがあり、おすすめできません。

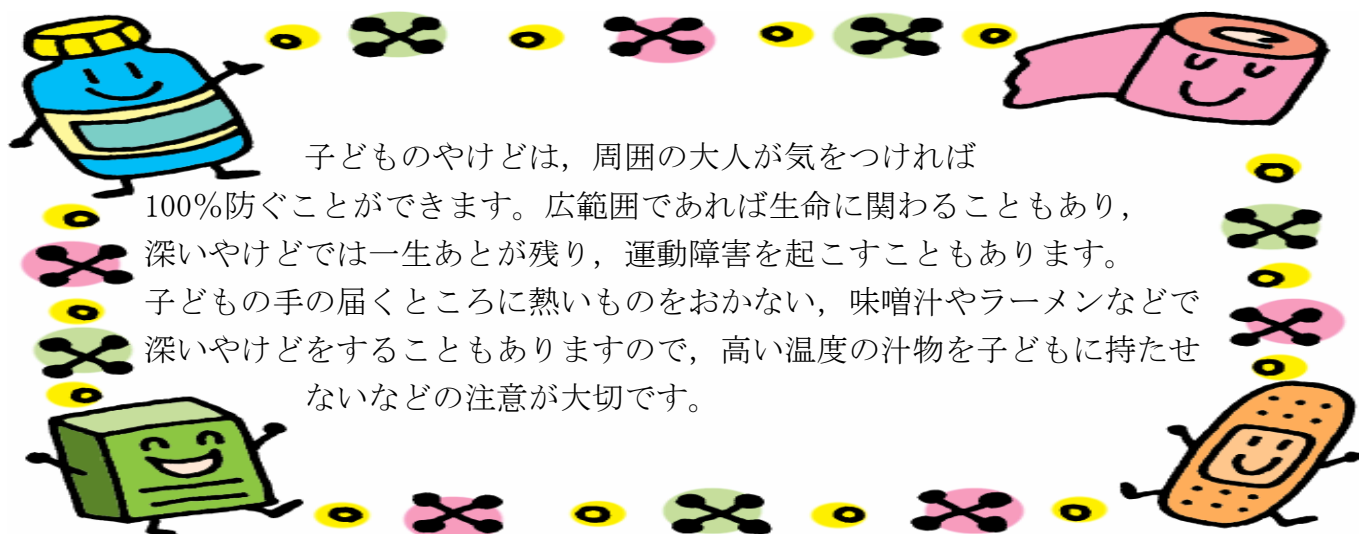
水ぶくれが破れて痛いときなどは、食べ物をつつむラップで傷をおおい、その上から冷やすのが比較的簡単です。

治 療

I度のやけどは、特に治療を行わなくても自然に治りますが、ひりひりと痛みがあるため、ステロイド剤を塗ったり、痛み止めを使用することがあります。

II度のやけどは、水ぶくれが破れていない小さな場合、ステロイド剤を始めての2-3日ぬり、水ぶくれを破らないようにしておけば、10日から2週間程度で水疱の下に新しい皮膚ができてきます。水ぶくれが大きいときや、水ぶくれが破れた場合には、軟膏を厚めにぬり、ガーゼなどで保護する方法と、そうしょうひふくざい創傷被覆材といわれる特殊なものでおおっておく方法があります。ガーゼで保護する場合には、毎日交換する必要があります。そうしょうひふくざい創傷被覆材でおおう場合にも、数日に1回は取り替えなければなりません。どちらの場合にも消毒は必要なく、痛くなければ交換するときにぬるま湯などで洗うと細菌感染を起しにくく、傷の治りが早くなります。II度の深いものに対しては、せんい が さいぼうぞうしょくいんし線維芽細胞増殖因子といわれる特殊な薬が使用されるようになり、以前よりはあとも残りにくくなってきています。

III度のやけどは、皮膚が完全に死んでいますので、死んだ皮膚を取り除く必要があります。薬品で溶かす方法と、手術的に切除する場合がありますが、いずれにせよ専門機関での治療が必要です。その後やけどの範囲が狭ければ、軟膏をぬって傷がふさがるのを待ちますが、広い場合には植皮術という手術を行います。傷が治っても元通りになる事はなく、必ずあとも残ります。



子どものやけどは、周囲の大人が気をつければ

100%防ぐことができます。広範囲であれば生命に関わることもあり、

深いやけどでは一生あとも残り、運動障害を起こすこともあります。

子どもの手の届くところに熱いものをおかない、味噌汁やラーメンなどで

深いやけどをすることもありますので、高い温度の汁物を子どもに持たせ

ないなどの注意が大切です。

ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.city.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>